

機関番号：41501

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2009

課題番号：19520589

研究課題名（和文）

中近世における名主座の分布領域とその外縁地域の宮座に関する村落類型論的研究

研究課題名（英文）

A study of village typology about distribution domain of MYOSHUZA, and about MIYAZA in its surrounding area in the middle ages and the early modern times

研究代表者

藺部 寿樹 (SONOBE TOSHIKI)

山形県立米沢女子短期大学・日本史学科・教授

研究者番号：10202144

研究成果の概要（和文）：西日本及び中部地方における宮座（名主座）の特質とその分布状況を、村落内身分の観点から古文書と現地フィールドの2面から調査した。その結果、臈次成功制宮座の分布領域である近畿地方の周囲に、名主座の分布領域（名主座リング）があることが判明した。名主座リングは、南九州を除く九州、愛媛県を除く四国、中国地方のほぼ全域、中部・北陸及び近畿地方の一部にわたる、広範なものである。この名主座リングの解明により、新たな村落類型論を提唱することが可能となった。

研究成果の概要（英文）：I did research on characteristics of MIYAZA (MYOSHUZA) and its distribution situation in West Japan and the Chubu district from the viewpoint of local social positions in villages by ancient documents and the local fieldwork. As a result of the research, it became clear that there was the distribution domain of MYOSHUZA (a MYOSHUZA ring) around the Kinki region, which was the distribution domain of ROJI-JYOGOSEI-MIYAZA (a MIYAZA, in which age precedes every other issue). The MYOSHUZA ring, which includes Kyushu except South Kyushu, Shikoku except Ehime, Chugoku, a part of Chubu, Hokuriku and Kinki regions, extends in large area. I can propose a new village typology by the elucidation of MYOSHUZA ring.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	700,000	210,000	910,000
2008年度	500,000	150,000	650,000
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	2,100,000	630,000	2,730,000

研究分野：日本中世史

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：名主座、村落内身分、村落類型論、宮座、中世村落

科学研究費補助金研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

宮座の研究は、ほとんどが近畿地方の臈次成功制宮座に関するものばかりであった。

中国地方及び北九州の宮座である名主座の個別研究は、藤井昭氏（『宮座と名の研究』、雄山閣出版、1987年）らによって行われていた。しかし、名主座を宮座全般のなかでどのように位置づけるかについては全く研究がなされていなかった。ましてや、分布領域を精査するという研究は皆無であった。

本研究代表者は、すでに「名主座における村落内身分の研究」（『国立歴史民俗博物館研究報告』、121集、2005年、のち同『村落内身分と村落神話』、校倉書房、2005年に再録）で、名主座研究を再検討することの重要性を説いていた。

2. 研究の目的

従来知られていない名主座の事例を可能な限り摘出し、名主座がどのように形でどのような地域に分布していたのかを解明することを目的とした。

そのことにより、近畿地方の宮座のみに研究が集中しているという研究状況を打破し、さらに全国における宮座諸類型の地域的な分布領域のありかたを、研究史上はじめて具体的に示すことを期した。

3. 研究の方法

(1) 文献による名主座の所在調査

国会図書館・東京都立中央図書館に架蔵されている平成大合併以前の自治体史（都府県史・市町村史）の悉皆調査を行った。本研究期間内に関東地方以西の自治体史はほぼ網羅的に調査した。これにより、これまでの地域史研究で名主座がどのように見出されているのかを確認した。

(2) 現地調査及び文書調査

(1)の文献調査により摘出した名主座の事例について、現地の教育委員会や地域史研究者などの協力を仰いで、現地調査・古文書調査を実施した。現地調査を実施したのは、以下の地域である。

中部地方

静岡県湖西市、岐阜県各務原市、愛知県東栄町

近畿地方

滋賀県野洲市・東近江市・甲賀市、大阪府貝塚市・熊取町・岬町、和歌山県和歌山市・海南市・日高川町・みなべ町、

中国地方

岡山県美作市・高梁市・新見市、広島県庄原市・世羅町、山口県岩国市

四国地方

香川県高松市、徳島県吉野川市三好市

九州地方

福岡県香春町・鞍手町・田川市・うきは市

4. 研究成果

(1) 名主座の分布領域の確定

本研究と本研究代表者によるそれ以外の研究とをあわせると、西日本及び中部・北陸地方において名主座を124の地域において検出することができた。

(2) 名主座の分布地

名主座の分布地は、以下の通りである（括弧内は先行研究があり、研究代表者がその存在を確認しただけの事例）。

なお、各地域には複数の名主座がある場合も少なくないので、名主座の存在実数はこの数倍となる。

遠江国：敷知郡古見郷、榛原郡相良荘

三河国：設楽郡振草郷、八名郡大野、南設楽郡黒瀬

美濃国：各務郡蘇原荘

能登国：鳳至郡鶴川保・山田郷

山城国：久世郡久我上荘

和泉国：日根郡近木荘・熊取荘・深日荘、南郡木島荘

播磨国：揖保郡鶴荘・越部上荘、宍粟郡高家荘都多村

備前国：和気郡吉永保、津高郡長田荘

美作国：真島郡月田郷・高田荘・美甘本荘（新庄村）、大庭郡河内荘・余野上村・余野下村・神狩村、(苫東郡青柳荘)、久米郡弓削荘・打穴村・稲岡南荘・埴和郷・倭文荘、勝田郡梶並荘

備中国：哲多郡西方村・千谷村・坂本村（高瀬村・泰忠村・宮河内村・本郷村）、英賀郡小坂蕪村・赤羽村（多治部村・布施村）、川上郡手相・成羽荘臘数村・二箇村、(後月郡青野村)、(下道郡上本荘)、浅口郡小坂荘

備後国：御調郡杭荘・東野村・山中村、世羅郡大田荘伊尾郷、甲奴郡田総荘、三上郡高門村、(恵蘇郡地毘荘・泉田荘)

安芸国：佐西郡久島郷、豊田郡沼田荘・(沼田新荘田万里村・乃美郷)

周防国：吉敷郡賀保荘、熊毛郡新屋河内村・浅江村、那珂郡山代荘

長門国：豊田郡阿川別符

丹波国：桑田郡山国荘

伯耆国：日野郡上石見郷

隠岐国：穩地郡五箇村

出雲国：飯石郡来島荘

石見国：吉賀郡吉賀郷・野々郷、那賀郡来原郷・波佐郷・久佐郷、邑智郡三原郷

紀伊国：名草郡重祢郷・大野郷・雑賀荘狩取、

海部郡賀太荘大川・木本西荘、日高郡川上荘

讃岐国：三豊郡詫間荘、小豆郡草加部荘、大内郡与田郷、香川郡井原荘

阿波国：麻植郡河田荘・瀬詰村、三好郡太刀野山村

土佐国：高岡郡大野見郷、幡多郡下山郷

豊前国：宇佐郡岩崎荘・江島別符、田川郡勾金荘・弓削田荘・位登荘・金国保・猪膝村・金田荘

豊後国：国東郡小野荘・香々地荘・真玉荘・安岐郷、速見郡八坂下荘

筑前国：遠賀郡山鹿荘、宗像郡野坂荘、鞍手郡植木荘、穂波郡土師荘内野村、那珂郡小倉荘

筑後国：生葉郡山北封、御原郡大保村

肥前国：三根郡矢俣郷、高来郡宇良村

(3) 名主座リングの発見

以上の結果により、近畿地方の臈次成功制宮座分布地域を囲むようなドーナツ状に、名主座が分布していることを発見した。このことは従来ほとんど知られていない点であり、村落類型論や宮座研究において画期的な発見といえよう。

(4) 関連する他の研究論文

名主座が各地域にどのように分布していたのかについて、本研究で作成した論文以外に、本研究代表者は下記の論文を発表している。

- ① 藪部寿樹、名主職と名主頭役身分—安芸国久島郷を中心に—、米沢史学、22号、2006、
- ② 藪部寿樹、周防国賀保荘における名主座について、米沢史学、23号、2007、22-47
- ③ 藪部寿樹、讃岐国大水主社における村落神話について、米沢史学、23号、2007、108-112
- ④ 藪部寿樹、山陰地方の名主座について（上・下）、山形県立米沢女子短期大学紀要、44号、2009、27-49・山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告、36号、2009、35-50
- ⑤ 藪部寿樹、徳島県・高知県の名主座と名集落について、山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告、36号、2009、51-61
- ⑥ 藪部寿樹、大分県の名主座について、史境、査読有、58号、2009、29-45
- ⑦ 藪部寿樹、肥前国における名主座と名集落について、日本史学集録、32号、2009、23-38
- ⑧ 藪部寿樹、村落内身分の地域分布と開発、坂田聡編、禁裏領山国荘、高志書院、2009、139-184

また次の論文の掲載を予定している。

- ・ 藪部寿樹、備後国杭荘における名主座について、国立歴史民俗博物館研究報告、査読

終了

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計9件)

- ① 藪部寿樹、名主座の変質とその意義—讃岐国井原荘の冠尾八幡宮宮座—、山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告、査読無、35号、2008、1-11
- ② 藪部寿樹、名主座の分布領域と讃岐国、山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告、査読無、35号、2008、13-20
- ③ 藪部寿樹、中部・北陸地方の名主座について、米沢史学、査読無、24号、2008、113-143
- ④ 藪部寿樹、山口県における名主座について、米沢史学、査読無、24号、2008、62-68
- ⑤ 藪部寿樹、徳島県・高知県の名主座と名集落について、山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告、査読無、36号、2009、51-61
- ⑥ 藪部寿樹、畿内における名主座について、山形県立米沢女子短期大学紀要、査読無、45号、2009、41-57
- ⑦ 藪部寿樹、広島県の名主座と荒神名について、山形県立米沢女子短期大学附属生活文化研究所報告、査読無、37号、2010、33-49
- ⑧ 藪部寿樹、美作国・備前国の名主座について、吉備地方文化研究、査読無、10号、2010、1-58
- ⑨ 藪部寿樹、紀伊国における名主座について（上）、和歌山地方史研究、査読無、58号、2010、1-26

※次の論文の掲載を予定している。

- ・ 藪部寿樹、紀伊国における名主座について（下）、和歌山地方史研究、査読無
- ・ 藪部寿樹、備中国の名主座について（上・下）、岡山地方史研究、査読無

[学会発表] (計3件)

- ① 藪部寿樹、中部・北陸地方の名主座について、日本中世史研究会、於大正大学文学部)、2008年6月7日
- ② 藪部寿樹、岡山県の名主座について(上)、岡山中世史研究会、於就実大学・就実短期大学図書館)、2009年6月13日
- ③ 藪部寿樹、岡山県の名主座について(下)、岡山地方史研究会、於岡山大学文学部、2009年7月18日

[図書] (計1件)

- ① 藪部寿樹、日本の村と宮座—歴史的変遷と地域性—、高志書院、2010、171

※研究代表者の名主座に関する論文集の刊行を予定している。

- ・菌部寿樹、村落内身分の地域類型（仮題）、高志書院

6. 研究組織

(1) 研究代表者

菌部 寿樹 (SONOBE TOSHIKI)

山形県立米沢女子短期大学・日本史学科・

教授 研究者番号：10202144